



保健のページ



【予防接種について】

こども園・保育園はさまざまな子どもたちがともに過ごす集団生活の場です。

ご自身のお子さんを守るだけでなく、一緒に過ごしている子どもたちみんなが守られるように、基本的な手洗いの徹底に加え、予防接種も受けていきましょう。

年長児は、今年度に MR ワクチンの二回目の接種時期となっています。

先日の報道でもありましたように、麻疹が小学校で集団発生しています。免疫をもたない人であれば、感染者との接触でほぼ 100%感染すると言われています。

ワクチンを接種することで、95%の人が免疫を獲得することができ、2 回目の接種を受けることでより強い免疫にするとともに、1 回の接種で十分に抗体が産生されなかった人にも免疫をつけることができます。

2 回接種により、免疫の備えができると、ウイルスを早期に抑え込んだり、発症を防いだり、感染したとしても、症状が軽く、重い合併症のリスクを下げる事がわかっています。

さらに、周囲の人に感染を広げるリスクも下げることができます。

年度初めに、園児票に予防接種歴を記載していただきましたが、年度途中でも予防接種を受けられましたら、職員までお伝えください。

【健康診断はなぜ受けるの?】

園では、内科健診・歯科健診・検尿検査を行っています。それぞれ何を診ているかというと・・・

- 内科健診・栄養状態/脊柱/胸郭/心臓の疾患および異常/皮膚疾患などを診察しています
- 歯科健診・齲歯(虫歯)の有無/かみ合わせ/生え変わりの様子などを診察しています
- 検尿検査・潜血/蛋白/糖 が尿中に排出されていないか確認しています 内科健診だけではわからない糖尿病や腎臓疾患が見つかることがあります

それぞれに、指摘事項のあった方は、かかりつけ医にご相談いただきます。園での生活に配慮が必要となった場合には、お伝えください。

保護者のみなさんも、日々お忙しい中とは思いますが、健康診断を欠かさず受診してくださいね。

20代・30代のがん患者は女性が8割を占めています。40代以降では生活習慣病が自覚なく進行していく時期です。

また、祖父母のみなさんにも受診できる健康診断があることをぜひお伝えください。

自覚症状がなくても、定期的に健康診断を受診していくことで、早期に異常を発見することが出来ます。

お住まいの市町村で健康診断の案内もありますので、そちらもご確認いただき、ご自身に当てはまる健康診断を受診して、お子さんとともに元気に過ごしていきましょう。

